

6章 確率

1節 確率の意味

「確率」という言葉は普段でも使います。

・降水確率

・打率 野球 10本打って3本ヒットなら3割打者

・合格率 80% 100回受験すると80回は合格

他にどんなところで使いますか？（・・・話ができるといい。）

「どちらが出やすいかな？」を読んでください。

(ア) 表表 (イ) 表裏 (ウ) 裏裏

実際 今から2枚の硬貨を投げてどうなのかを予想してもらおう。

「今から2枚の10円硬貨を10回投げます。その結果を予想してみてください。」

(何人かに予想してもらおう)

(実際に10回試行)

みんなの予想は当たっていましたか？

けいたさんの考えは正しかったですか？

けいたさんがケーキを食べられる回数は多い結果になりましたか？

ものごとの起こりやすさについて学習しましょう。

1. 起こりやすさと確率

「教科書を読んでください。」 「読めばわかります」

「投げる回数が多くなると (イ) の相対度数は0.5に近い値になっています。」

あることがらの起こりやすさの程度を表す数を

そのことがらの **確率** といいます。

2枚の硬貨を投げるとき1枚は表で1枚は裏である確率は0.5

問1 (ア) 両方とも表 である確率は0.25

実験 (ペットボトルのキャップを実際投げてみるといい。)

ペットボトルのキャップを投げて 表となる確率は0.14

横 0.3

裏 0.56

ひろげよう 「ひろげようを読んでください。」

みんなの生まれた年、2004年の出生児数の男女を見てみるとやはり
女兒の生まれる確率は0.49（やっぱり女子が不足している・・・？）

問2 男児の生まれる確率は0.51

問3 $\frac{60}{80} = \frac{3}{4} = 0.75$